

(報道関係資料)

2023年5月9日

**JPR 日本パレットレンタル株式会社**

## JPR、『物流 2024 年問題 対策のポイントと事例(改訂版)』を公開 物流パーソンに好評の資料をバージョンアップ

日本パレットレンタル株式会社(東京都千代田区 代表取締役社長 加納尚美 以下、JPR)は、『物流 2024 年問題 対策のポイントと事例(改訂版)』を公開しました。

この資料は、物流“2024 年問題”に直面する物流パーソンに向けて、2024 年問題とは何かの要約や対策のポイントを紹介しています。2022 年 3 月に初版を公開し、物流に関わるビジネスパーソンやメディアの方々に閲覧いただいた資料を増補し、改訂版としてアップデートしました。

『物流 2024 年問題 対策のポイントと事例(改訂版)』は、JPR ホームページから無償でダウンロードいただくことができます。

本資料が、2024 年問題の認知や解決の一助になれば幸いです。



### ■物流 2024 年問題とは

2024 年 4 月に、トラックドライバーの時間外労働の上限に関して法令が改正されます。いま物流業界では、この法令改正への対応と、その影響による輸送力の不足が 2024 年問題として課題認識されています。

### ■物流パーソンの課題に応える情報をまとめた資料

『物流 2024 年問題 対策のポイントと事例(改訂版)』は、物流パーソンの抱える次のよう

な課題や悩みにお応えすることを意図して制作されています。今般の改訂版では、最新の事例やソリューションに関する情報が追加されています。

- 社内やお取引先と 2024 年問題についての対策を話し合うために、基本情報をまとめた資料が欲しい。
- 自社で対策を検討する際の切り口のヒントとなる情報が欲しい。
- タイムリミットが迫る中で具体的な打ち手を探している。

### ■JPR ホームページから無償でダウンロードできます。

『物流 2024 年問題 対策のポイントと事例 (改訂版)』は、JPR ホームページの以下の URL より無償でダウンロードができます。

<https://www.jpr.co.jp/inquiry/pamphlet/>

### ■物流 2024 年問題に対する JPR の取り組み

JPR は、1971 年の創業来、標準パレットの共同利用の促進を通じて、物流のつなぎ目で起きやすい、ドライバーによる手荷役作業や長時間の待機を解消・緩和する取り組みを続けてきました。現在約 1000 万枚のパレットを保有する国内トップシェアのレンタルパレットサプライヤーとして、多様な地域、業種の企業をつないでいます。



同じパレットをリレーして使用することで  
物流のつなぎ目での手荷役を無くす

●標準サイズのレンタルパレット  
プラ製11型片面二方差パレット(PT-11)  
サイズ:1,100×1,100×144mm(L×W×H)  
本体質量:約19kg~約26kg  
最大積載質量:1トン



図：標準化されたレンタルパレットによるリレーのような物流

また、JPR は多様な企業と企業をつなぐという事業の特性を活かし、デジタル化された物流データの活用によって検品等の作業を効率化したり、複数の企業による共同輸送の機会を創出する取り組みを推進しています。

# epal DD Plus

納品伝票電子化・共有システム



## 標準化されたサービスで企業と企業をつなぐ

epalDD Plusは、納品伝票を電子化し、企業間での共有を可能にするJPR日本パレットレンタルが提供するソリューション。  
納品伝票の発行や收受、保管、照合にかかる作業が効率化するほか、レンタルパレットサービスとの連携によって、  
JPRパレットの受け払いの業務がワンストップで完結します。

標準データフォーマット対応なので、他のソリューションとの連携も容易に。  
デジタル化された情報を活用して多様な取引先と業務の効率化を進めることができます。

**JPR**

図：デジタル化された物流データの活用によるソリューションの例